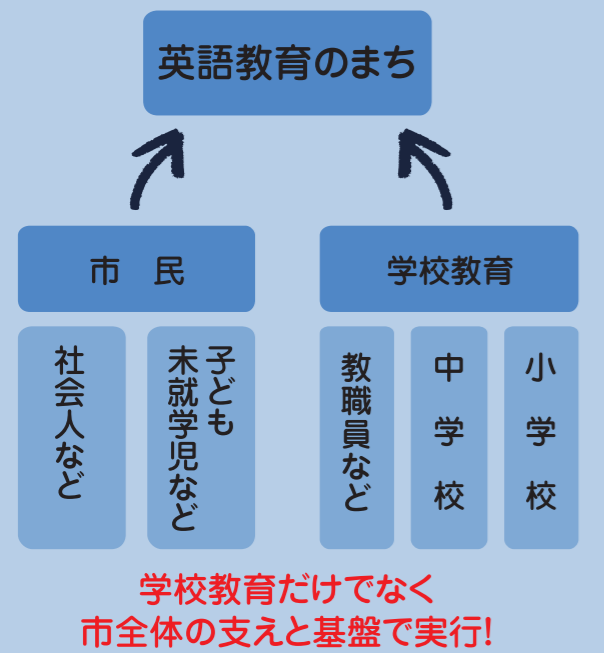




「英語教育のまちづくり」イメージ



なぜ英語教育?

- 1 平成32年から
英語は小学校でも教科になる!
- 2 2020年東京オリンピック・パラリンピック
「英語でおもてなし」
- 3 英語への関心が高まる時流

下妻市は流れを先取り

子どもたちの輝く未来のため
英語教育の充実

↓
英語教育のまちづくりに向け
3つの計画を立てる



「キッズからシニアまで」特集

英語教育のまちづくり

問 指導課 ☎44-0746 FAX 43-9608

英語教育のまちづくりに向けた3つの計画

計画 ①

英語教育のための 人材確保

- ・外国人英語指導助手の直接雇用
- ・日本人英語指導助手の採用
- ・英語教育を専門とする学校教育指導員の採用
→英語に関する教育研修や授業の工夫改善を図る

計画 ②

市独自の英語教育に関する 小中一貫教育の取り組み

- ・下妻市オリジナルワークブックの作成
- ・パイロット校の設置
- ・指導計画や教材の作成
- ・コミュニケーションを図る資質、能力の育成

計画 ③

市全体で行う 英語教育のまちづくりの推進

- ・「キッズからシニアまで」を合言葉にして取り組む
→親子英会話教室(キッズイングリッシュ)
→市立幼稚園で英語あそび
→社会人対象の市民英会話教室(English Cafe)

子どもたちの 輝く未来のために 英語教育の充実



横瀬 晴夫 教育長

平成32年度から英語は小学校でも教科になります。

下妻の教育は、この流れを先取りし、子どもたちの輝く未来のために英語教育の充実に取り組み、英語のまちづくりに向けた「英語教育推進の人材確保」「市独自の英語に関する小中一貫教育」「市全体で行う英語のまちづくり」の3つの計画を推進しています。

英語教育のまちづくりは、学校教育だけではなし得ません。市全体での支えや基盤があってこそなり得るものなので、「キッズからシニアまで」を合言葉に英語教育の充実に取り組んでいきます。